

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【公開番号】特開 2010-75745 (P2010-75745A)  
 【公開日】平成 22 年 4 月 8 日 (2010.4.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-014  
 【出願番号】特願 2010-2941 (P2010-2941)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 25 日 (2011.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示手段を備え、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

前記可変表示手段は、外部より視認可能な表示画面に画像を表示する第 1 の画像表示装置と、

当該第 1 の画像表示装置の表示画面の裏面側に配置され、当該第 1 の画像表示装置の表示画面とは異なる表示画面に画像を表示する第 2 の画像表示装置とを含み、

前記第 2 の画像表示装置の表示画面は、前記第 1 の画像表示装置の表示画面と画面サイズが同一で画素数も同一であり、前記第 1 の画像表示装置の表示画面を介して視認可能に構成され、

前記第 1 の画像表示装置または前記第 2 の画像表示装置において識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、

識別情報とは異なる画像である特定演出画像を前記第 1 の画像表示装置に表示する制御を行う特定演出画像表示制御手段とを備えた

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば飾り図柄）を可変表示可能な可変表示手段（例えば飾り図柄表示装置 11）を備え、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果（例えば大当り図柄）となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能となる遊技機であって、可変表示手段は、外部より視認可能な表示画面に画像を表示する第 1 の画像表示装置（例えば第 1 の液晶表示装置 12（透明 LCD 12））と、当該第 1 の画像表示装置の表示画面の裏面側に配置され、当該第 1 の画像表示装置の表示画面とは異なる表示画面に画像を

表示する第２の画像表示装置（例えば第２の液晶表示装置１３（盤面ＬＣＤ１３））とを含み、第２の画像表示装置の表示画面は、第１の画像表示装置の表示画面と画面サイズが同一で画素数も同一であり、第１の画像表示装置の表示画面を介して視認可能に構成され、第１の画像表示装置または第２の画像表示装置において識別情報の可変表示を実行する可変表示制御手段と、識別情報とは異なる画像である特定演出画像（例えば、飾り図柄、キャラクタ画像、飾り図柄が停止したときやキャラクタ画像が表示されたときに一緒に表示されるエフェクト画像、「リーチ状態」になったこと等を報知する文字画像等）を第１の画像表示装置に表示する制御を行う特定演出画像表示制御手段とを備えたことを特徴とする。そのような構成によれば、第１の画像表示装置に特定演出画像が表示されるかによって、遊技者の期待感を高揚させることができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】